

平成24年6月7日

社団法人 米穀安定供給確保支援機構 情報部

## 米取引関係者の判断に関する調査結果 (平成24年5月分)

社団法人米穀安定供給確保支援機構（米穀機構）は、米の需給動向や価格水準などの取引状況を把握することを目的に「米取引関係者の判断に関する調査」を平成24年3月から毎月実施しています。

平成24年5月分の調査概要については次のとおりです。

なお、同調査は農林水産省が平成23年5月から平成24年2月まで実施してきた「米取引関係者の判断」調査を米穀機構が引き継ぎ、平成24年3月から実施主体として調査及び公表するものです。

### 【調査概要】

米取引関係者に対して、需給動向や価格水準などの取引動向に関するアンケートを実施し、その結果をDI<sup>※</sup>として算出したものです（詳細は6ページ参照）。

### 平成24年5月分の主な調査結果

#### ■主食用米の需給動向

- ア. 現状判断 80（前月からの増減 ±0）
- イ. 見通し判断 78（前月からの増減 ±0）

#### ■主食用米の米価水準

- ア. 現状判断 79（前月からの増減 +3）
- イ. 見通し判断 68（前月からの増減 ±0）

※DI (Diffusion Index)

アンケート回答者の判断や方向性を指数化したものです。

# 米取引関係者の判断(平成24年5月)

## 1. 国内の主食用米の需給及び価格動向に関する判断(全体)

### ①主食用米の需給動向

#### (ア)現状判断DI

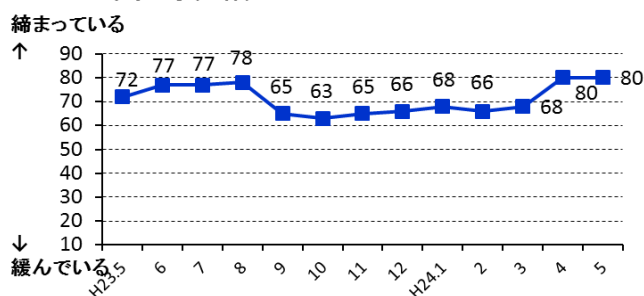
前月からの増減 ±0 (今月の数値 80)

#### (イ)見通し判断DI (向こう3ヶ月)

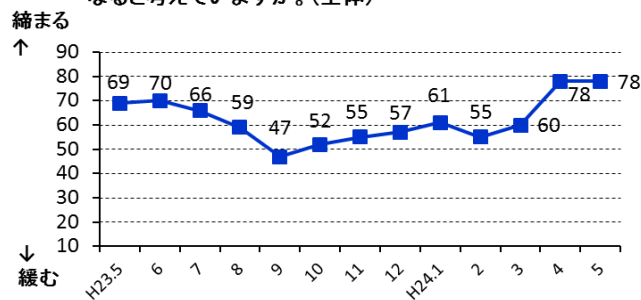
前月からの増減 ±0 (今月の数値 78)

※ 当月の数値が前月と比較し100に近づけば、「締まっている」/「(将来)締まる」という見方が前月より強くなり、反対に0に近づけば、「緩んでいる」/「(将来)緩む」という見方が前月より強くなった傾向を示します。

①-ア 国内の主食用米の”現在の需給動向”について、どう考えていますか。(全体)



①-イ 国内の主食用米の”向こう3ヶ月の需給動向”について、どうなると考えていますか。(全体)



### ②主食用米の米価水準

#### (ア)現状判断DI

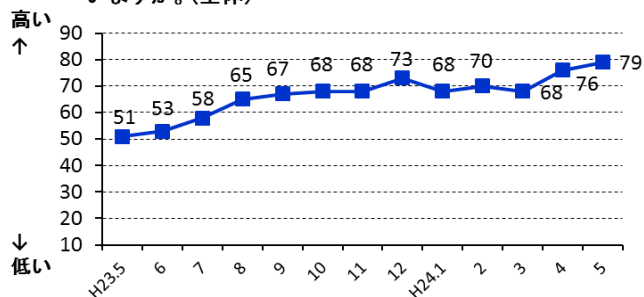
前月からの増減 +3 (今月の数値 79)

#### (イ)見通し判断DI (向こう3ヶ月)

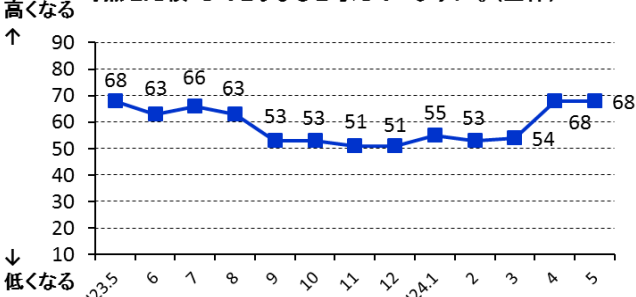
前月からの増減 ±0 (今月の数値 68)

※ 当月の数値が前月と比較し100に近づけば、「米価水準が高い」/「米価水準が高くなる」という見方が前月より強くなり、反対に0に近づけば、「米価水準が低い」/「米価水準が低くなる」という前月より強くなった傾向を示します。

②-ア 国内の主食用米の”現在の米価水準”について、どう考えていますか。(全体)



②-イ 国内の主食用米の”向こう3ヶ月の米価水準”について、”現時点と比較”してどうなると考えていますか。(全体)



### ③ 取引関係者が①及び②の判断を行うに当たり、主に考慮した要因

	作柄	国内の在庫水準	国の政策	米穀の調達状況	消費者の動向	競合商品の販売動向	その他
H23.5	3%	33%	12%	-	17%	7%	28%
H23.6	5%	38%	8%	-	20%	8%	20%
H23.7	7%	34%	11%	-	12%	8%	28%
H23.8	14%	28%	7%	-	19%	7%	25%
H23.9	22%	23%	4%	-	23%	7%	21%
H23.10	22%	23%	3%	-	27%	6%	19%
H23.11	14%	18%	3%	-	34%	10%	21%
H23.12	8%	11%	2%	46%	22%	3%	8%
H24.1	6%	14%	3%	48%	19%	2%	8%
H24.2	4%	17%	2%	48%	20%	3%	6%
H24.3	2%	14%	4%	54%	18%	2%	6%
H24.4	2%	9%	2%	69%	8%	5%	6%
H24.5	2%	13%	4%	66%	8%	4%	2%

## 2. 自社の取引状況に関する判断(業態ごと)

### ①主食用米の販売数量

※ 当月の数値が前月と比較し100に近づけば、「増えた」/「(将来)増える」という見方が前月より強くなり、反対に0に近づけば、「減った」/「(将来)減る」という見方が前月より強くなった傾向を示します。

#### (ア) 今月の販売数量に関する現状判断DI

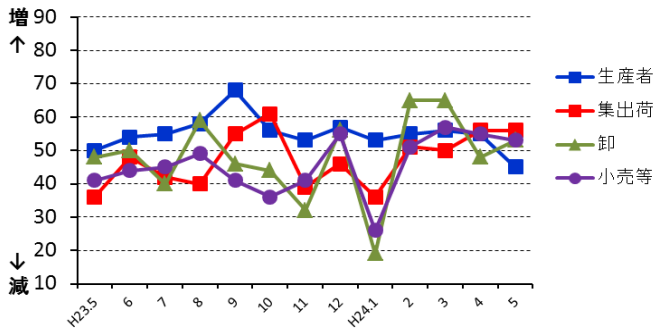
##### a. 先月との比較

生産者：前月からの増減	-10	(今月の数値 45)
集出荷：前月からの増減	±0	(今月の数値 56)
卸：前月からの増減	+5	(今月の数値 53)
小売等：前月からの増減	-2	(今月の数値 53)

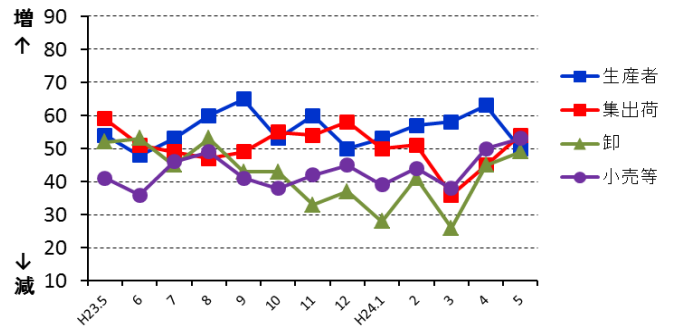
##### b. 前年同月との比較

生産者：前月からの増減	-13	(今月の数値 50)
集出荷：前月からの増減	+9	(今月の数値 54)
卸：前月からの増減	+4	(今月の数値 49)
小売等：前月からの増減	+3	(今月の数値 53)

①-ア-a 貴社の”今月”の主食用米の”販売数量”について、”先月と比較”するといかがですか。



①-ア-b 貴社の”今月”の主食用米の”販売数量”について、”前年同月と比較”するといかがですか。



#### (イ) 来月の販売数量に関する見通しDI

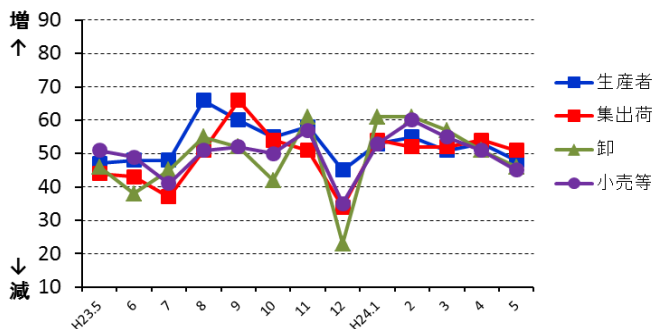
##### a. 先月との比較

生産者：前月からの増減	-5	(今月の数値 48)
集出荷：前月からの増減	-3	(今月の数値 51)
卸：前月からの増減	-5	(今月の数値 46)
小売等：前月からの増減	-6	(今月の数値 45)

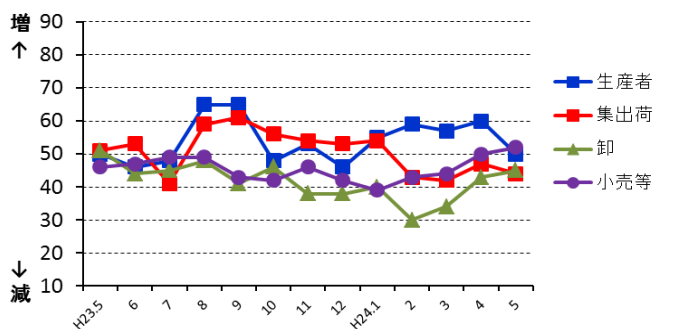
##### b. 前年同月との比較

生産者：前月からの増減	-10	(今月の数値 50)
集出荷：前月からの増減	-3	(今月の数値 44)
卸：前月からの増減	+2	(今月の数値 45)
小売等：前月からの増減	+2	(今月の数値 52)

①-イ-a 貴社の”来月”の主食用米の”販売数量”について、”今月と比較”してどうなると考えていますか。



①-イ-b 貴社の”来月”の主食用米の”販売数量”について、”前年同月と比較”してどうなると考えていますか。



## ②主食用米の価格

※ 当月の数値が前月と比較し100に近づけば、「高くなった」/「(将来)高くなる」という見方が前月より強くなり、反対に0に近づけば、「低くなった」/「(将来)低くなる」という見方が前月より強くなった傾向を示します。

### (ア) 今月の価格に関する現状判断DI

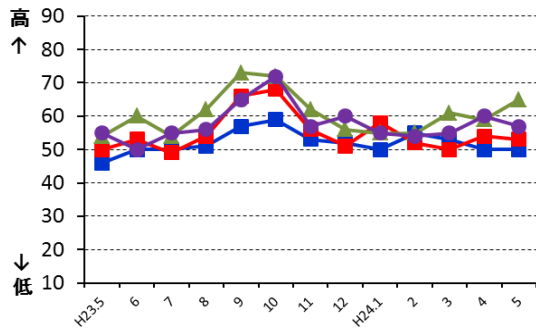
#### a. 先月との比較

生産者	： 前月からの増減	±0	( 今月の数値 50)
集出荷	： 前月からの増減	-1	( 今月の数値 53)
卸	： 前月からの増減	+6	( 今月の数値 65)
小売等	： 前月からの増減	-3	( 今月の数値 57)

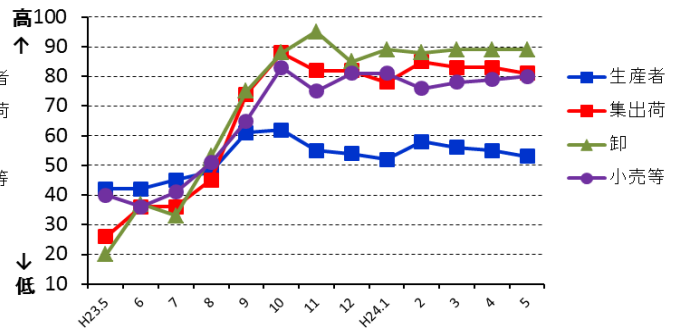
#### b. 前年同月との比較

生産者	： 前月からの増減	-2	( 今月の数値 53)
集出荷	： 前月からの増減	-2	( 今月の数値 81)
卸	： 前月からの増減	±0	( 今月の数値 89)
小売等	： 前月からの増減	+1	( 今月の数値 80)

②-ア-a 貴社の"今月"の主食用米の"価格"について、"先月と比較"するといかがですか。



②-ア-b 貴社の"今月"の主食用米の"価格"について、"前年同月と比較"するといかがですか。



### (イ) 来月の価格に関する見通しDI

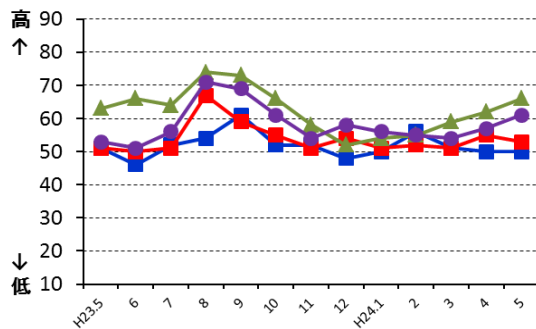
#### a. 先月との比較

生産者	： 前月からの増減	±0	( 今月の数値 50)
集出荷	： 前月からの増減	-2	( 今月の数値 53)
卸	： 前月からの増減	+4	( 今月の数値 66)
小売等	： 前月からの増減	+4	( 今月の数値 61)

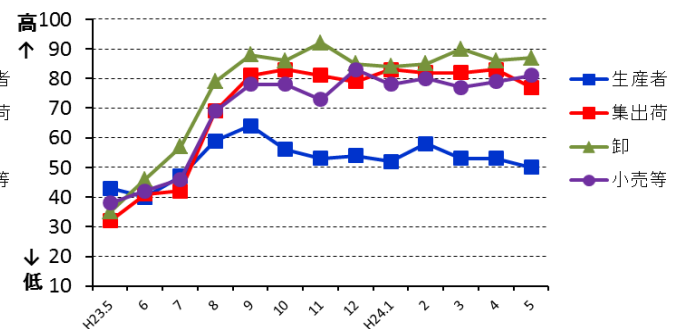
#### b. 前年同月との比較

生産者	： 前月からの増減	-3	( 今月の数値 50)
集出荷	： 前月からの増減	-6	( 今月の数値 77)
卸	： 前月からの増減	+1	( 今月の数値 87)
小売等	： 前月からの増減	+2	( 今月の数値 81)

②-イ-a 貴社の"来月"の主食用米の"価格"について、"今月と比較"してどうなると考えていますか。



②-イ-b 貴社の"来月"の主食用米の"価格"について、"前年同月と比較"してどうなると考えていますか。



### ③主食用米の在庫量

※ 当月の数値が前月と比較し100に近づけば、「多くなった」/「(将来)多くなる」という見方が前月より強くなり、反対に0に近づけば、「少なくなった」/「(将来)少なくなる」という見方が前月より強くなった傾向を示します。

#### (ア) 今月の在庫量に関する現状判断DI

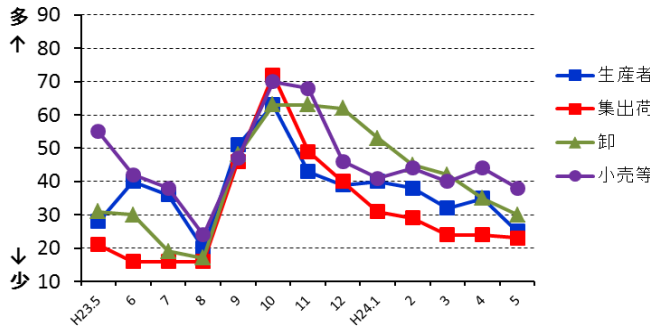
##### a. 先月との比較

生産者	： 前月からの増減	－10	( 今月の数値 25)
集出荷	： 前月からの増減	－1	( 今月の数値 23)
卸	： 前月からの増減	－5	( 今月の数値 30)
小売等	： 前月からの増減	－6	( 今月の数値 38)

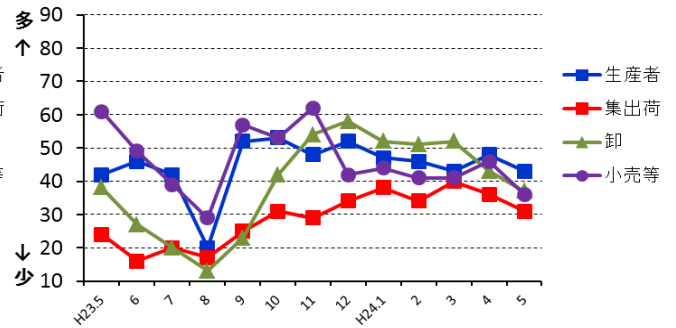
##### b. 前年同月との比較

生産者	： 前月からの増減	－5	( 今月の数値 43)
集出荷	： 前月からの増減	－5	( 今月の数値 31)
卸	： 前月からの増減	－6	( 今月の数値 37)
小売等	： 前月からの増減	－10	( 今月の数値 36)

③-ア-a 貴社の”今月”の主食用米の”在庫量”について、”先月と比較”するといかがですか。



③-ア-b 貴社の”今月”の主食用米の”在庫量”は、”前年同月と比較”するといかがですか。



#### (イ) 来月の在庫量に関する見通しDI

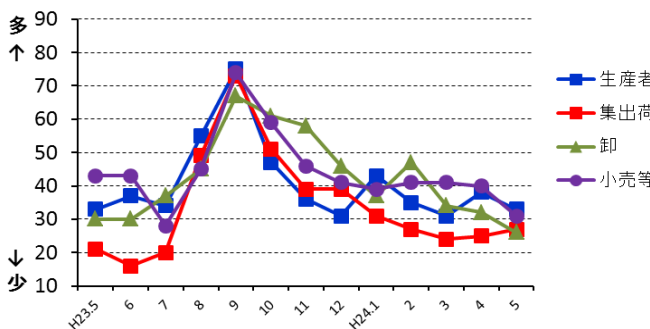
##### a. 先月との比較

生産者	： 前月からの増減	－5	( 今月の数値 33)
集出荷	： 前月からの増減	＋2	( 今月の数値 27)
卸	： 前月からの増減	－6	( 今月の数値 26)
小売等	： 前月からの増減	－9	( 今月の数値 31)

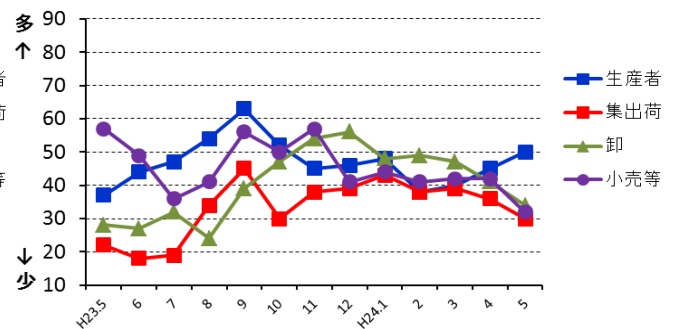
##### b. 前年同月との比較

生産者	： 前月からの増減	＋5	( 今月の数値 50)
集出荷	： 前月からの増減	－6	( 今月の数値 30)
卸	： 前月からの増減	－7	( 今月の数値 34)
小売等	： 前月からの増減	－10	( 今月の数値 32)

③-イ-a 貴社の”来月”の主食用米の”在庫量”について、”今月と比較”してどうなると考えていますか。



③-イ-b 貴社の”来月”の主食用米の”在庫量”について、”前年同月と比較”してどうなると考えていますか。



### 《アンケート方法等》

- 調査期間：毎月1日から25日までの取引状況を踏まえて回答
- 調査方法：電子メールを利用したアンケート調査
- 調査対象者：全国の生産者、集出荷業者、卸・小売業者等の154客体
- 有効回答数：128客体

生産者 ..... 10  
集出荷業者／団体 ..... 33  
卸売業者(主に主食用米) ..... 30  
小売業者／中食・外食業者 ... 38  
その他 ..... 17

※「その他」は以下の業者です。

- ・米穀の販売の事業を行う者のうち、主に加工原材料の卸売の事業を行う者
- ・加工原材料米穀を使用し、加工食品(酒類を含む)を製造・販売する者

- 結果公表：原則、翌月上旬

### 《利用上の注意》

- 本アンケート調査は、当面の間試行的に実施するものであり、今後必要に応じて変更することもあり得ます。
- 表示単位未満の端数は四捨五入したため、合計と内訳が一致しないことがあります。

### 《DIの算出方法》

米の需給動向・価格水準などに関する現状、または先行きに対する5段階の判断(評価)にそれぞれ点数(評価点)を与え、これらを各回答区分の構成比(%)に乗じてDIを算出します。

ただし、DIの推移は、変化の方向性を示すものであり、その変化の大きさ(量感)を表すものではありません。例えば、大幅であろうが小幅であろうが、上昇するといった見方をする者の構成比が同じであれば、同じDIが観測されることに注意が必要です。

### 【DIの算出例】

(問) 国内の主食用米の”向こう3ヶ月の米価水準”について、”現時点と比較”してどうなると考えていますか。

	高くなる	やや高くなる	同程度	やや低くなる	低くなる
評価点(A)	+1	+0.75	+0.5	+0.25	0
構成比(B)	17.8	20.0	20.0	22.2	20.0
各DI(C=A×B)	17.8	15	10	5.6	0
DI(合計)	48.4				

本件に関する問い合わせ先  
〒103-0001  
東京都中央区日本橋小伝馬町15-15  
社団法人米穀安定供給確保支援機構  
情報部 TEL03-4334-2161  
担当：藤原 馬場 小野塚